

令和7年度 防災部会の活動

「共助の実践で安心な翼地区へ」

防災部長
小西 章

昨年の11月に大分県佐賀ノ関で180棟以上が焼失する大火災が発生しました。幸いにも死傷者は火元の方だけで、多くの住民は人的被害を免れたとのこと。

報道によると、近所の方々による声掛け避難と、地域消防団による初期消火活動や養護施設職員の避難誘導が、道幅の狭い漁村でも人的被害を最小限に抑えたようです。

「人との輪・地域の絆・つながり」で安心な助け合うまちづくりにご協力をお願いします。

防災実技講習会



初めての試みで、2月22日(日)に冬季の防災訓練を実施しました。当日は小春日和の暖かさの中、大勢の参加者が避難所開設や様々な防災機器の取扱い訓練を体験しました。



刈谷防災ボランティアの皆さんに、避難所における歯磨きの大切さや委縮した筋肉をほぐすストレッチなどの実技を受講しました。避難所では多くの不便を享受しなければなりません。少しでも快適に過ごすことのできる工夫を日頃から学んでおくことが大切だと実感しました。